

STUDY ON QUANTITATIVE APPROACHES IN SOLVING COMPLEX ENERGY-RELATED SOCIAL ISSUES

シャマル チャンドラ カルマカル

<https://hdl.handle.net/2324/6787603>

出版情報 : Kyushu University, 2022, 博士 (工学), 課程博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)

氏名	SHAMAL CHANDRA KARMAKER (シャマル チャンドラ カルマカル)			
論文名	STUDY ON QUANTITATIVE APPROACHES IN SOLVING COMPLEX ENERGY-RELATED SOCIAL ISSUES (複合的なエネルギー関連問題を解決するための定量的アプローチに関する研究)			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	B. B. Saha
	副査	九州大学	教授	河野 正道
	副査	九州大学	准教授	濱本 芳徳
	副査	九州大学	准教授	A. J. Chapman

論文審査の結果の要旨

本研究は、エネルギー不足に苦しむ国を主な対象とし、その国々の教育や健康などの生活水準の質とエネルギー不足の関係性を、高度な統計学・計量経済学に基づいて定量評価し、エネルギー不足が生活の質の向上を妨げる社会問題であることを結論付けたものである。また、環境税の導入によってエネルギー技術の革新が促進される程度を定量予測し、社会問題を解決するためのエネルギー政策の提言に有用な科学的根拠を提示したものであり、機械工学上価値ある業績として、博士(工学)の学位に値すると認める。